

松幼だより **かがやけ松が丘っ子**



～ 自然大好き 友だち大好き 遊び大好き ～

令和3年11月30日発行

三田市立松が丘幼稚園

♪たのしいあそびのせかい♪

子ども達が考えて創り上げた“たのしいあそびのせかい”！！子ども達は、友達と楽しく遊んできたことや、チャレンジしてきたことを、お家の人に観てもらいたくて、この日を楽しみにしてきました。「行事に向かう練習」ではなく、「幼稚園生活の自然の流れの中で」「幼児が楽しく活動できる内容」をみんなで考え、一緒に進めてきました。子ども達の“やる気”はどんどんふくらみ、竹ぼっくりチャレンジでは、難しいコースを作ったり、いろいろな歩き方に挑戦したり、積極的に取り組む姿が見られました。

保育の中で楽しんできた“ステージ”は、4・5歳児のつながりが感じられました。“ぱんだ組さんと一緒なら大丈夫…”という、りす組さんの思いがぱんだ組さんに伝わり、みんなが温かい気持ちになれるかわりでした。1年間の経験の大きさを改めて感じる事ができました。お家の皆さまには、温かく見守っていただき、ありがとうございました。

～感想の一部を紹介します～

- とてもかわいい園児達の頭の中をのぞかせていただいた、そんな音楽会でした。園児主体の行事ができる。そんな松が丘幼稚園の素敵な笑顔あふれる毎日をありがとうございます。
- 娘が楽しそうに楽器を鳴らしたり歌っている姿が見れたので良かったです。
- 去年の兄の作品を見ていて、とても本人が楽しみにしていたので、思う存分に作品作りができて、とても満足そうでした。竹ぼっくりは、皆で準備から片づけが早く、とても驚きました。一人ずつ工夫してそれぞれカッコイイ見どころがあり、ドキドキしながらみていました。最後の「ゴール！」がとっても可愛かったです。
- この日のために、みんなが一生懸命かつ楽しみながら取り組んできたことがひしひしと伝わり、子ども達の成長や力強さに感動しました。
- 家で、自分の出番で披露するものはもちろん歌っていたのですが、ぱんだ組さんの‘カイト’や‘元気だいこ’のことも教えてくれていたので、しっかり受け継がれているんだなあと、嬉しくもあり少しさみしさもあり…本人にとって、いろんな気持ちを感じたり学びがあった行事だったなと感じています。

- 楽しく可愛い会を開催していただき、ありがとうございました。ジグザグおさんぽ、ありがとうの花、2曲共、家でよく歌っていて本番も大きな声が出せていて可愛かったです。マスクで、可愛く歌う顔が見れず、非常に残念な想いもありましたが…仕方ないですね。
- 今年も、松が丘幼稚園らしいアットホームなあたたかい音楽会「たのしいあそびのせかい」を堪能しました。手作り楽器をいきいきとした目で演奏するりす組さん、一音一音丁寧に鍵盤を弾くぱんだ組さん、みんなの一生懸命さがとても伝わってきました。
- 竹ぼっくりでは、一人一人がゴールにたどりつくまで、みんなが見守っている姿、失敗しても立ち上がって歩き続ける姿に、とても感動しました。
- 「人と自然の博物館」「バス」も、工夫をたくさん凝らしているところが見ていてとても楽しめました。
- 子ども達の成長がとっても感じられた音楽会でした。子ども達が考えたことを、先生方があたたかく見守っていただいたり、困っている時はサポートしてもらっていることが、家庭での話から感じられました。大きな作品が自分の力で出来たことで、自信がついていました。
- 昨年の「あそびのせかい」からの成長が目で見えて分かるほどに、大きく成長しているのを感じました。我が子が大きな声でまっすぐこちらを見て歌っている事に感動しました。
- たった4人とは思えない程、力強い「元気だいこ」でした。りす組さんも、ぱんだ組さんも、とても難しい歌だったのに、大きな声で堂々としていてカッコ良かったです。
- ガソリンスタンド、楽しそうでした。人と自然の博物館も、看板の字も、全部子ども達がかいたのですね。すごいです。資料を見て、プロセスがよく分かりました。

げんき太鼓を！～大きい組から小さい組へ、バトンをつなぐ～



りす組がずっと憧れてきた、ぱんだ組の『げんき太鼓』を、バチの持ち方から構え方、リズムまで、受け継いでいきます。ぱんだ組は、教え方を工夫しながら、見本を見せたり、手を持ってあげたり…りす組は、真剣に話を聞きながら、一生懸命真似をしてたっています。

この時期になると、自分たちが次の学年に進級するという自覚が湧いてくるのでしょうか、言葉や態度の中に、「あとは任せたい！」「早く大きい組になりたい！」というような思いが読み取れます。いろいろな技だけでなく、心も受け継がれているのですね。